IMA-BA-A

2020 - 2| 県立対策③

12293-1

埼
③
国

埼玉県公立入試
学力検査問題

国語

〈五十分間〉

注意

1 解答用紙について
(1) 解答用紙は一枚で、問題用紙にはさんであります。
(2) 係の先生の指示に従って、所定の欄に受検番号、氏名を書きなさい。
(3) 答えはすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
(4) 解答用紙は切りはなしてはいけません。

2 問題用紙について
(1) 表紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
(2) 問題は全部で五問あり、表紙を除いて十二ページです。
○ 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。

受検番号	第　　番

2020 - 2| 県立対策③

©JIKS14-20-01

1　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（26点）

ピアノを習う中学三年生の北沢良一は、ある日同級生だがクラスが違い、それほど親しくない野球部のエース・羽根木徹也から、翌日の試合をビデオ撮影してほしいと頼まれる。良一は事情がよくわからないまま、予定していた聴音レッスンを休んで撮影に出かける。試合は徹也の投打にわたる活躍で圧勝だったが、徹也は良一に、撮影したテープを、徹也の恋人である直美に見せてほしいと言う。直美は病気で入院中であった。

ぼくはふと、窓の外を見た。病室は三階にあったが、すぐそばに別の建物があるので、見晴らしはよくなかった。それでも建物の隙間から、青空が見えた。この空を、直美は、毎日眺めているのだろう。

画面に視線を戻すと、一回表の攻撃が終わるところだった。相手チームの三番打者がフライを打ち上げた。捕手の船橋が、体勢を崩して、ボールを落としそうになった。

「あ、ダメよー」

直美が声をあげた。明るく弾んだ声だった。

どんな病気なのだろう、とぼくは思った。

一回裏の攻撃が始まった。

ツーアウトから、三番の東山が内野安打で出塁する。そして、徹也の打球が、左翼手の頭上を越えていく。

「やった！」

直美のかんだかい声が、病室に響いた。

①正直に言って、ぼくは、徹也がうらやましかった。球場で試合を見ていた時は、そんなことは少しも感じなかったのだけれども。

回が進んで、再び徹也が打席に入る。ランナーが一塁にいる。

「ねえ、今度はホームラン？」

直美が尋ねた。

「黙って見てろ」

ぶっきらぼうに、徹也は言った。徹也の二打席目は、本当にホームランだった。徹也はガッツポーズも見せずに、顔をうつむけてベースを一周した。そういうところが、いかにも徹也らしかった。

三打席目にも、直美は同じことを尋ねた。

「ねえねえ、今度もホームラン？」

「見てろよ」

リリーフ投手のコントロールがわるく、フォアボールになると、直美はいかにも落胆したように、溜め息をついた。

「なあーんだ」

徹也は黙っていた。

一本のテープに収めたかったので、試合の後半は、はしょって撮影してある。すぐに徹也の第四打席になった。今度は一塁二塁のチャンスだ。

「ねえ、今度はどう？」

がまんしきれなくなったように、目を輝かせながら、直美が言った。

徹也は答えない。

「ねえねえ、どうなのよう」

②直美は救いを求めるように、ぼくの顔を見た。徹也が答えないのだるわけにはいかない。

この打席の徹也は、緊張していた。最後の打席だ。相手投手の力量からすれば、ホームラン一本では、ものたりなかったのだろう。画面の中の徹也はひどく神経質になって、足の位置を小刻みに変えたり、掌（てのひら）をユニフォームにこすりつけたりしている。

一球ボールのあと、ファウルを二本打った。二本目は、徹也の打球とも思えない。鈍いファウルチップだった。

徹也は半ば自信を失ったように、足もとに転がったボールを見下ろしていた。

不意に、画面の中の徹也が、こちらに目を向けた。

「テッちゃん、がんばって！」

直美が大声で言った。

まるでその声が聞こえたみたいに、徹也はカメラに向かって軽く手を挙げ、微笑を浮かべた。

徹也は自信をとり戻したように、相手投手をにらみつけた。

テープを巻き戻して、※デッキから抜き出した。

ぼくの役目は終わった。

テレビの画面が消えても、試合の昂奮（こうふん）が、まだ室内にたちこめていた。

「じゃあ、ぼくは帰るよ」

コードをはずしながら、ぼくは言った。二人の親密な空気を、乱したくなかった。

「あら」

驚いたように、直美はぼくの顔を見た。何か言いたそうな様子を見せた。

徹也が軽い口調で言った。

「お、そうか。わるかったな」

昨日は聴音のレッスンを休んで球場へ行ったのだから、もう少し心のこもった言い方をしてもいいと思った。でも、徹也というのは、そういうやつなのだ。

「デッキを倉庫に戻しておこうか」

「場所、わかるか」

「わかるよ」

部屋を出ようとしたぼくに、直美が声をかけてくれた。

「ありがとう、北沢くん」

簡単な言葉だが、声の調子に、心がこもっていた。

※ナースステイションに※和泉（いずみ）さんがいた。備品倉庫を開けてもらった。

「あなた、羽根木くんのお友だちなんでしょ？」

デッキを元の場所に戻し、倉庫を出たところで、和泉さんが尋ねた。

「友だちというわけじゃないんです」

と答えるしかなかった。

「あら、そうなの？」

「撮影を頼まれただけです」

「友だちでもないのに、頼まれたわけ？」

「ええ」

「そう。親切なのね」

「いえ、そういうわけじゃあ……」

③ぼくは言葉をにごした。親切というのとは、少し違う。でも、なぜ徹也の言うままに球場に行き、今日はこの病院に来たのか。考えてみると、よくわからなかった。胸の中に、わだかまりがあった。④だが、病院に来たことを、後悔してはいなかった。

「あの……」

別れぎわに、ぼくは和泉さんに声をかけようとして、途中でやめてしまった。

「何？」

「いえ、いいんです」

本当は、直美の入院の理由や、退院の見通しなどを、訊（き）きたかった。

⑤でも、答えを聞くのが、怖い気がした。

（三田誠広『いちご同盟』による。）

（注）※デッキ……ビデオテープを再生する器械。

※ナースステイション……病院の看護師の詰め所。

※和泉さん……直美が入院している病院の年配の看護師。

問1　①正直に言って、ぼくは、徹也がうらやましかった　とありますが、この表現は良一のどのような心情を表していますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア　恋人に強い関心を持たれるほどの素晴らしい野球センスと高い技術を持つ徹也がうらやましい。

イ　野球の試合における活躍をビデオで見て素直に喜んでくれる恋人のいる徹也がうらやましい。

ウ　どんな試合状況にあっても自分の野球技術をフルに発揮できる徹也の精神力がうらやましい。

エ　それほど親しくない相手にでも気軽に頼みごとのできる徹也の開放的な性格がうらやましい。

問2　②直美は救いを求めるように、ぼくの顔を見た　とありますが、このときの直美の様子を次のようにまとめました。空欄にあてはまる内容を、五十字以上、六十字以内で書きなさい。（7点）

打席での結果を、徹也自身に聞いたものの答えてくれなかったので、待ち切れなくなって「ぼく」に教えてもおうとする様子。

問3　③ぼくは言葉をにごした　とありますが、このときの良一について述べた文として**あてはまらないもの**を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア　なぜ徹也の言うままに試合を撮影し、わざわざ病院まで来たのか、自分でもよくわからないと思っている。

イ　徹也の依頼を断らずに、試合の様子をビデオ撮影し、病院まで持って来たのは親切心だけではないと感じている。

ウ　親しくもない自分にあれこれと頼みごとをしたうえに、心のこもった礼も言わない徹也に対して腹を立てはじめている。

エ　思わぬことから徹也の言うままに球場や病院に足を運んだが、それでも徹也は親友というわけではないと思っている。

問4　④だが、病院に来たことを、後悔してはいなかった　とありますが、本文中には、良一が来てよかったと思う理由となった出来事が描かれた部分があります。その部分の最初の文のはじめの五字を書き抜きなさい。（5点）

問5　⑤でも、答えを聞くのが、怖い気がした　とありますが、良一がこう思った理由を、本文中の言葉を使って、四十字以上、五十字以内で書きなさい。（6点）

本当は直美の入院の理由や退院の見通しなどを知りたいが想像以上に深刻だったら困惑してしまう　と思ったから。

2

次の各問いに答えなさい。（24点）

問1　次の――部の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に改めなさい。（各2点）

(1)　港町の路地を散策する。
(2)　世界に門戸を開く。
(3)　学問を修める。
(4)　会社にシュウショクする。
(5)　科学技術の進歩がイチジルしい。

問2　次の――部の文節と――部の文節の関係を、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

久しぶりに　見る　ふるさとの　海は　とても　青くて　大きい。

ア　主述（主語・述語）の関係
イ　修飾・被修飾の関係
ウ　並立の関係
エ　補助の関係

問3　次の文には、組み立てのうえで不適切なところがあります。ある部分を削ることによって、文意を変えないで整った文にすることができます。それにはどの部分を削るとよいですか。その削る部分を書き抜きなさい。（4点）

私は、毎日ジョギングを続けて考えたことは継続することこそ最も大きな力になると思った。

問4　石田さんは、国語の授業で四字熟語について学習しました。四字熟語の中には、上の二字と下の二字が似た意味で組み合わされているものがあることを知りました。そこで、このような成り立ちの四字熟語をいくつか集めてみました。□にあてはまる漢字二字を書きなさい。（4点）

・完全無欠　・枝葉□□　・右往左往
・誠心誠意　・創意工夫　・電光石火

問5　次の例文の――部「ない」と、同じ意味（働き）で使われているア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

私は海外旅行の経験がまったくない。

ア　日本の伝統文化の中には、いつまでも変わらないものがある。
イ　父には今週中に仕上げなければならない仕事があるそうだ。
ウ　駅前の道路を歩いていたところ、予想もしないことが起きた。
エ　その日はたまたまサッカーの練習がない日だった。

問3　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（26点）

1 動物においては、時間の進む速度はエネルギー消費量に比例します。エネルギーを使えば使うほど、時間は速く進んでいくのです。

2 この関係に気づいたとき、おや？　これはどうも人間の社会活動にも当てはまりそうだぞ、と感じました。たとえば車を使えば速く目的地に着けますが、車を動かすにもつくるにも、たくさんのエネルギーが必要ですね。だから、エネルギーを使うと時間が速くなると考えていいように思えます。何と言っても車は現代社会のシンボルです。

3 現代のもう一つのシンボルはコンピュータですが、これはエネルギーを使って時間を速めるものでしょう。複雑な計算も速くできるし、電子メールならあっという間に世界中に手紙が届きます。エネルギーを使ってコンピュータをつくりそれを動かすと時間が速くなるのです。

4 コンピュータの心臓部のCPU（中央処理装置）の場合は、もっとエネルギーと時間の関係が直接的です。CPUの演算速度を速めようとすればするほど、エネルギーを注ぎ込まなければいけません。そのエネルギーは最終的には熱になります。スーパーコンピュータでは、この熱の処理が大問題になっています。

5 車やコンピュータだけではありません。身のまわりのほとんどの機器が、エネルギーを使って時間を速めるとみなせるものばかりです。飛行機、電話、ファックス、工場の※生産ライン、家庭内では全自動洗濯機や電子レンジでチン。このような文明の利器と言われるものは、便利なものですね。そして「便利」とは速くできることと言い換えてもいいでしょう。ですから文明の利器とは、エネルギーを使って時間を速めるものと言えるわけです。だから人間の社会活動においても、生きものと同様「エネルギーを使えば使うほど時間が速く進む」という関係が成り立つのではないでしょうか。

6 文明の利器を動かすために、私たちは膨大な量のエネルギーを使っています。体が使うエネルギーの四〇倍ものエネルギーを国民一人ひとりが使っているのです。人類がエネルギーをどんどん使うようになったのは、もちろん近代になってからのこと。①縄文時代には、体が使う分以外に、エネルギーなどほとんど使いませんでした。私たち現代人は縄文時代の約四〇倍のエネルギーを使っていることになるでしょう。

7 さて、ここで、社会生活の時間はエネルギー消費量に比例して速くなる、と考えると、現代の時間は縄文時代より四〇倍速い、ということになります。

8 正確に四〇倍かどうかは分からないところですが、このような考え方は、さほど間違ってはいないように思えるのです。現代社会の象徴として、また車を例にとれば、車は時速六〇キロ、徒歩なら四キロです。移動速度は一五倍ですので、車によって時間が一五倍速くなっています。現代人の時間は、やはり一桁は速くなっていると考えてよいのではないでしょうか。

9 ②エネルギーを使うものの中には、時間と関係のないものも、もちろんあります。夏の電力消費の大きな部分はクーラーですが、これは時間と直接の関係はありません。でも、昔だったら「夏は暑いねぇ」とうだーっとしていたところを、涼しく気持ち良くして休みもとらずにバリバリ働いているわけですから、これも時間を速めるのに大いに貢献しています。電灯だってそうです。夜も休まず働けるのです。その分、社会の時間は速まります。

10 前章で、私たちは自己の体の外部をも※恒環境化しているという話をしました。効率良く高速でものごとを行うには、環境がいつでもどこでも安定していなければなりません。一部分でもほんの少しの間でも、遅かったり働かなかったりするところがあれば、そこがネックになり、すべてが遅れてしまいます。精密で正確なことを行うにも安定した環境が必須ですし、速い者同士のタイミン

グを合わせるにも、環境が安定している必要があります。速最短の方法をとれますから、恒環境化して予測可能の状況になることは都合の良いことです。

恒温動物は変温動物に比べて、ずっとたくさんのエネルギーを使って体温を高く一定に保ち、体の内部を恒環境化して高速に正確にものごとを行えるようにしました。これをさらにエスカレートさせて、私たち現代人は莫大なエネルギーを使って「社会の体温」を高く一定に保ち、体も恒環境化し、より高速により正確にものごとを行えるようにしているのだと私はみなしています。

このように昔と比べて③現代社会の時間は桁違いに速くなっているのですが体の時間はそうではありません。

私たちの心臓のリズムや肺のリズムを、同じサイズの他の哺乳類と比べてみても、大きな違いは見られないのです。たとえば心臓の一回の拍動は私たちでは〇・九秒ですが、体重六〇キログラムの哺乳類の平均は〇・七秒。ほとんど違いがありません。体が使うエネルギー量でもそうでした。現代人といえども平均的な哺乳類とみなせるものなのです。現代人がそうなのですから、縄文人だってそうだったに違いありません。現代人も縄文人も、体自体に大きな違いはなく、私たちの体のリズムは昔のままなのです。とすると、体の時間は昔と何も変わっていないのに、社会生活の時間ばかりが桁違いに速くなっているのが現代だということになります。

そんなにも速くなった社会の時間に体がうまくついていけるのでしょうか？現代人には大きなストレスがかかっているとよく言われます。そのストレスの最大の原因は、体の時間と社会の時間の極端なギャップにある、と私は思っています。

私たちは、より速くより便利な生活を追求してきました。リニア新幹線、電子メール、インターネット等々、最近話題になるものといえば、速い移動、速い通信を可能にするものばかりです。新聞には新車の大きな広告が目立ちます。速いことは良いことだ、よりはやいほうがよいというのが現代の価値観なのです。

はたしてより速いことは、より幸せなことなのでしょうか？これほど大きな時間のギャップを抱えていながら、私たちは本当に幸せだと感じられるのでしょうか？

より速くという社会の要請に応えるべく、技術者は日々大変な努力をしておられます。本当に頭が下がります。でも便利なものを作ればつくるほど社会の時間は速くなり、体の時間とのギャップもどんどん大きくなっていきます。つまり技術者が努力すればするほど、私たちはますます不幸になっていくわけです。

技術とは人類を幸福にするためにあるはずのものです。身を粉にして働くのも尊いことですが、ここらでちょっと手を休めて、真の幸福とは何か、「幸福の技術」とはどんなものなのかを、技術者をはじめ私たち一人ひとりが考えてみる必要があると思います。

（本川達雄『時間』による。）

（注）※生産ライン……大規模工場などでの流れ作業による製品組み立て工程。
※恒環境化……いつも変わらない一定の環境を作り出すこと。

☆空らんの問題は 前後の分析が大切

問1 ①縄文時代 とありますが、次は、縄文時代と現代の人間の生活の違いをまとめたものです。空欄にあてはまる言葉を本文中のこれより後の部分から探し、七字で書き抜きなさい。（4点）

縄文時代	体が使うエネルギー量と社会活動のエネルギー消費量はほぼ一致していた。
現代	縄文時代の四〇倍のエネルギーを使っているので、（　　）もそれに比例して速くなっている。

問2 ②エネルギーを使うものの中には、時間と関係のないものも、もちろんあります とありますが、これについて筆者はどのように考えていますか。次の書き出しに続けて、本文中の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。（6点）

クーラーや電灯は時間と直接の関係がないように思えるが実際はクーラーや電灯を使うことによって、

問3 本文中の空欄 I には、ものごとを高速に正確に実行するための方法を表現した内容が入ります。本文中の空欄 I にあてはまる内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア 具体的なプランを立てる
イ 過去の経験を生かす
ウ あらかじめ先が読める
エ 全員の意思統一を図る

問4 ③現代社会の時間は桁違いに速くなっている とありますが、この結果、現代人にはどんな問題が発生していると筆者は考えていますか。次の空欄にあてはまる内容を、ストレス、便利の二つの言葉を使って、五十字以上、六十字以内で書きなさい。ただし、二つの言葉を使う順序は問いません。（7点）

社会の要請によって、技術者が努力した結果、

便利なものがつくられて社会の時間と体の時間のギャップが大きくなり、その極端なギャップによって大きなストレスがかかる

ようになった。

Ⓐして

Ⓑする

問5 本文に書かれている内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（5点）

ア 文明の利器は人間の社会的活動に必要なエネルギーを生み出す点で便利だが、同時に発生する熱処理が課題である。

イ 文明の利器は時間を速く進める機能があるが、そのためにエネルギーを消費する点では他の生き物と同様である。

ウ 文明の利器は時間を速めることによってエネルギーを節約できるが、人々が必ずしもそれを望んでいるわけではない。

エ 文明の利器はエネルギーを消費することで時間を速めることができるが、そのエネルギーは地球環境を汚染している。

4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（……の左側は口語訳です。）（12点）

十一日。暁（あかつき）に船を出（い）だして、※室津（むろつ）を追ふ。

人みなまだ寝たれば、海の有様も見へず。ただ月を見てぞ、西東をばA知りける。かかる間に、みな夜明けて、①手洗ひ、例の事どもして、昼になりぬ。

毎日のきまりごと

今し、※羽根（はね）といふ所に来ぬ。稚（わか）き童、この所の名を聞きて、「羽根といふ所は、鳥の羽根のやうにやある」と言ふ。まだ幼き童の言（こと）なれば、②人びと笑ふ時に、ありける女童（をんなわらは）なむ、この歌を

前に登場した

問3

このような

詠める。

まことにて名に聞く所羽根ならば飛ぶがごとくに都へもがな

都に着きたいものだ

とぞ言へる。男も女も、いかで疾（と）く京へもがな、と心あれば、この歌よしとにはあらねど、げに、

はやく　　なるほど

と思ひて③人びと忘れず。この羽根といふ所B問ふ童のついでにぞ、また昔へ人をC思ひ出でて、

亡くなった娘

いづれの時にか忘るる。

いつ忘れることがあろうか、いや決して忘れることはない

（注）※室津……高知県室戸（こうち むろと）市室津。

※羽根……室戸市羽根。

（紀貫之『土佐日記』による。）

問4

この歌はたいして よくなかったけれど

この歌を詠んだ女の子のことかな!?

問1 ①手洗ひ とありますが、この部分を「現代かなづかい」に直し、ひらがなで書きなさい。（3点）

問2 傍線部A～Cの主語の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

ア A 人びと B 女童 C 人びと

イ A 稚き童 B 人びと C 作者

ウ A 作者 B 人びと C 人びと

エ A 作者 B 稚き童 C 作者

大事!!

問3 ②人びと笑ふ とありますが、何を聞いて笑ったのですか。簡潔に書きなさい。（3点）

問4 ③人びと忘れず とありますが、ここでの「人びと」の気持ちとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

ア 女童のよんだ歌は、子どもらしい素直な表現に好感がもたれ、京の都に早く帰りたいばかりと思っていたが、船旅も楽しいものだと教えられた気持ち。

イ 女童のよんだ歌は、子どものものとは思えない技巧をこらしたもので、人びとに都の様子を思い出させるきっかけを与えてくれた点で賞賛すべきだという気持ち。

ウ 女童のよんだ歌は、それほど上手なものではないものの、一日も早く都へ帰りつきたいという気持ちがこもっていて、共感できるものだという気持ち。

エ 女童のよんだ歌は、「稚き童」の歌をまねたもので新鮮味はないが、地名の羽根と「飛ぶ」の組み合わせがおもしろいので、とりあえずはほめておこうという気持ち。

5 次の意見A～意見Dは、「将来、社会人として仕事をするうえで必要な能力として、何が必要か」という質問に対する意見です。この四つの意見をもとに「社会人として、仕事をするうえでの必要な能力」というテーマで意見文を書くことになりました。

この四つの意見A～意見Dの中からあなたの考えに近いものを一つ選び、あとの(注意)に従って、あなたの意見を書きなさい。

（12点）

意見A　いっしょに働く人とうまくコミュニケーションをとり、仲良く働く協調性が最も必要だ。

意見B　仕事に工夫をしたり、アイデアを提供したりする、積極性が最も必要だ。

意見C　ライバルなどとの競争に勝ちぬくためには、他人の真似ではない独創性が最も必要だ。

意見D　同じ会社の人たちはもちろん、取引先やお客様とも気持ちよく接する社交性が最も必要だ。

（注意）

(1) 二段落構成とし、第一段落ではあなたが選択した意見を、第二段落ではその理由を、自分の体験(見たこと聞いたことなども含む)をふまえて書くこと。

(2) 作文の中で意見A、意見B、意見C、意見Dの選択を示すときは、それぞれ**意見A**、**意見B**、**意見C**、**意見D**と表現してよいものとする。

(3) 文章は、十一行以上、十三行以内で書くこと。

(4) 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。

(5) 題名・氏名は書かないで、一行目から本文を書くこと。

（以上で問題は終わりです。）

2020-21 県立対策③

埼玉県公立入試学力検査問題

国語 解答用紙(1)

/26 1

問1 イ 4

問2 A 打席での結果を、徹也自身に聞いたものの答えてくれなかったので、待ち切れなくなって「ぼく」に教えてもらおうとする 7

問3 ウ 4

問4 部屋を出よ 5

問5 A 本当は直美の入院の理由や退院の見通しなどを知りたいが想像以上に深刻だったら困惑してしまう 6

/24 2

問1 (1) ろじ 2 (2) もんこ 2 (3) おさめる 2 (4) 就職 2 (5) 著しい 2

問2 ウ 3

問3 考えたことは 4

問4 末節 4

問5 エ 3

/26 3

問1 社会生活の時間 4

問2 A 休みなく働くため、社会の時間は速まる。 6

問3 ウ 4

問4 A 便利なものがつくられて社会の時間と体の時間のギャップが大きくなりその極端なギャップによって大きなストレスがかかる 7

/12 4

問1 てあらい 3

問2 エ 3

問3 (幼い童が)羽根という地名を鳥の羽根のようだと言ったこと。 3

問4 ウ 3

/12 5

仕事をする上で必要な能力は、Aの協調性だと思う。

仕事では必ずしも自分の賛成する意見ばかりが採用されるわけではないと思う。いったん決まった以上は周囲に合わせ、コミュニケーションをとりながら仕事を進めていく必要がある。このことは学校の委員会などでも経験することだ。アイデアは異なっても目指すゴールが同じなら、最後はおたがいが協調・協力できるかどうかが求められると思う。

うーん イマイチ…

得点		受検番号	第　　番	氏名	

2020-21 県立対策③

2020 - 2| 県立対策③

埼玉県公立入試
学力検査問題

国語 解答用紙 (1)

1 /26

問5	問4	問3	問2	問1
5	50 / 60 → 7	4	20 → 6	4

2 /24

問4	問2	問1
4	3	(4) 1
問5 3	問3 4	2 2
		(5) 2
		しい 2
		(3)
		める 2

3 /26

問5	問3	問2	問1
50 → 6	4	50	4
	問4		
40 → 7	5	60 → 7	

4 /12

問4	問3	問2	問1
3		3	
			3

5 /12

13 / 11

国語 解答用紙 (2)

得点		受検番号	第 番	氏名	

2020 - 2| 県立対策③